

INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市狐島4288番地 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：小川秋實 副会長：唐澤敏治 幹事：小向誠一



2014-2015 国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

Light up Rotary

2014-2015 RI会長
 ゲイリー・C.K.ホアン
 台湾台北



第1305回 例会 平成27年4月7日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 君が代・奉仕の理想・四つのテスト 馬場秀則ソングリーダー

■ 会長談話 小川秋實会長



ロータリーの「IM」はIntercity Meetingの略号で、日本語訳は都市連合会です。近隣クラブが共通のテーマで語り合うフォーラムと懇親会がセットになっています。以前はIntercity General Forum (都市連合フォーラム)と称された地区行事でしたが、1969年に国際ロータリーの正式行事から除外されました。それ以降、世界のほとんどの地区ではIMをしなくなりましたが、日本ではすべての地区で継続しています。実施するか否か、誰が主催するかはガバナーの裁量です。今年の上伊那グループIMは、駒ヶ根市の看護大学で開催され、フォーラムのテーマは、「各クラブが大切にしてきたもの」でした。各クラブのエースが登場し、当クラブからは小向幹事が堂々たる発表をされ、ガバナー補佐からお褒めの言葉がありました。

フォーラムとは、古代ローマの公共広場が語源で、公開討論会を意味します。一人または複数の人が講演した後、参加者が討論する形式です。IMでのテーマとしては、「ロータリーの魅力とは」、「地域社会の真のニーズを探る」、「出席率向上」、「海外クラブとの姉妹締結」など、多岐にわたる問題が取り上げられています。フォーラムの代わりに、パネル・ディスカッション、シンポジウム、あるいはセミナーも行われています。これらは本来それぞれやり方が異なる会議形式です。

シンポジウムとは、ギリシャ語で「一緒に酒を飲む」が語源です。何人かの講師が特定の問題についてそれぞれ異なった切り口から意見を述べ、聴衆と質疑応答を行う形式の討論会です。ある地区のIMでは、「会員増強について」のシンポジウムが行われました。何人かの代表者が、「会員増強の意義」、「勧誘すべき職業分野」、「勧誘のやり方」など、それぞれ意見発表されたのでしょう。

パネル・ディスカッションは、特定の問題について意見が異なる人々が聴衆の前で意見を交わすのを聴衆が聴く形式です。意見を交わす人々をパネルといいます。たとえば、原発賛成派と反対派の代表が意見をたたかわせるのを聴くという形式です。ある地区のIMでは、「ロータリーの理念と企業経営」についてパネル・ディスカッションをやっていますが、どのような対立意見があったのかは記録からは不明です。

ロータリーが行っている会合には、このほかにセミナー、ワークショップがあります。これらは、集団討議法ではなく、教育や研修のやり方です。セミナーは、ラテン語の苗床が語源で、日本語訳は演習です。本来は大学などの授業法の一つですが、一般には、少人数で課題に関する報告・議論を行なう研修のやり方を指します。ある地区のIMでは「ロータリーが抱える問題」をセミナー形式でやっていましたが、おそらく参加者を少人数のグループに分けて、グループごとに議論をしたのでしょう。ワークショップは、作業場という意味で、参加者全員が発言や行動をして、技能を伸ばしたり、問題を解決したりする方法です。ロータリーでは、会員の研修に用いられています。

■ 慶 祝

4月誕生日祝い ・三澤耕太会員
・小向誠一会員
・池田幸平会員
・池上幸平会員

■ ニコニコボックス

- ◆小川秋實 伊那公園の櫻が満開となりました。会員各位の繁栄と健康をお祈りいたします。
- ◆唐澤敏治 今年もまた8名の若さとバイタリティーある新入社員を迎えることができました。彼等の今後の活躍を大いに期待しています。
- ◆池田幸平 昨夜カラオケで幸平対決を行い、私池田は91点、池上会員は90点で弟子になりました。しばらく私が師匠です。
- ◆池上幸平 昨夜、池田さんの音程のはずれた歌に負けてしまいました。1点差なのですがクヤシイ〜
- ◆中川博夫 地区協ご苦労様でした。
- ◆唐澤千明 高遠の桜が5日に開花宣言しました。町中では桜の見頃でやっと春の到来を感じました。県議選は無投票で良かったか悪かったか？静かでいいですね。
- ◆唐澤稔 せっかく桜が咲き始めたのに・・・寒さで長持ちするかな。毎日、花よりダンゴです。
- ◆伊藤幸明 今日、長男の新居が完成。引越しをしております。タカータカー住宅ですが、平屋建にてまったく見栄えがしません。

(発表 伊藤幸明委員長)

■ 幹事報告

小向誠一幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・3月28日(土)～29日(日) PETS (会長エレクト研修セミナー) の報告 中川博夫会長エレクト



- 3月28・29日の二日間の研修に参加しました。
- RI会長：K.R.“ラビ”ラビンドランさん (スリランカ・コロンボRC)
- RI 2015-2016 会長テーマ“Be a gift to the world”「世界へのプレゼントになろう」
- RID2600 2015-2016ガバナー：望月 宗敬 (むねのり) (松本RC)
- 地区テーマ 「思い起こそう ロータリーの心と原点」
- 新たな方向を見いだす歩み
- 心と原点 (職業分類・例会・I Serve・職業奉仕) を思い起こす歩み

以上です。

ロータリーは変革期にある。日本は戦後の高度経済成長からバブル崩壊、リーマンショックに続き、低経済成長が長く続いている。そして、少子高齢化・人口減少社会に突入している。

今、ロータリーに若い力を注入しなければロータリーの存続が危うい(会員増強は必須)。時代は大きく変わってきているのに、ロータリーに旧態依然としたところ、時代の要請にそぐわない事はないだろうか。今までの活動の総括と精査(守ること・捨てること)をし、価値観を向上させるための新しい形(長期5カ年計画)を作り、次につなげる。

職業奉仕はロータリーの基本であり、I Serveを推し進めるために各自が取り組まなければならない。その中で、奉仕の具現化、奉仕の見える化を推進して欲しい。(職業奉仕)

との挨拶から始まり、

- ①年間計画の立案→クラブ内で、事業・現状・今後を話し合う機会をもっと持つ。
- ②クラブを運営する→災害時の安否確認・緊急時の連絡網が完備? 全員が共有?
- ③ロータリー財団の補助金→地区補助金は、前・現・エレクトの対話で、前年度に次年度を決める。そして、大きなプロジェクトは他クラブとの共同で。
- ④ソーシャルメディアの活用とプロジェクトの広報→「マイ・ロータリー」への登録をし、ロータリー情報を共有しよう。
- ⑤ロータリーについて語ろう→ロータリーとは何か? 会員はどのような人か? どのような活動をしているのか?

以上、55人が5班に分かれ、それぞれの分科会ごとのテーマに沿い、テーブルディスカッション方式で話し合いました。

自他クラブの現状・ロータリー活動の報告と今後の方針を話し合うことは、ロータリーとは何か？何を目的とした集まりなのか？今更ながら、立ち止まって考える機会になりました。

その中で、何をしなければならないのか？ボンヤリとイメージを作ることができましたので、次年度の活動に生かせられたらと思います。皆様のご協力をお願いします。

・4月6日（月）伊那節まつり祭事の報告 小川秋實会長

平成27年4月6日



伊那節まつり神事は、伊那公園・伊那節の碑の前で行う予定だったが、雨模様のため、伊那東大社祭殿で開催。祝詞奏上、玉串奉奠、川上商工会議所会頭と林副市長の挨拶、伊藤市議会議長と宮下一郎代議士(秘書代読)の祝辞があった。続いて、伊那節の歌と踊りが披露された。なお、伊那公園の桜は満開だった。

会員交流観桜パーティは、伊那商工会館で開催。200人以上が参加。立食形式で伊那の名物料理と地元の酒が提供された。川上会頭と林副市長の挨拶、登内名誉会頭の音頭で乾杯ののち、活発な会員交流行われ、その間に新入会員の紹介、タヒチアンダンスショー、お楽しみ抽選会があった。

■ 出席報告

会員数34名 出席免除会員8名 長欠会員2名 本日出席者24名 事前メイク3名
出席率93.10% 前回出席率 修正なし (発表 井上修委員)

■ 地区研修・協議会の報告 4月5日（日） 於：松本大学

①会長部会 中川博夫 会長エレクト



次年度に対する心構え、地区方針・要請は、PETSで講習済みだったので、次期会長部会では、今までのガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所とは別に、「ロータリーに関する情報管理とデータベース化をする」地区事務所の設置を認めて欲しいとの話で終始しました。

今までは、年度ごとの活動内容は各年度の段ボール箱に収められていたので、継続性がなかった。そして、以前の資料を閲覧しようと思うと、箱をひっくり返して探さねばならなかった。一番の問題は、財団からのお知らせ・報告は全て英語でやりとりしなくてはならないので、専門の職員がいないと対応が難しい。もし、地区の固定事務管理事務所ができれば、会員の少ないクラブでもガバナーを引き受けやすくなるということです。

この問題に関しては、クラブに持ち帰って賛否を表明したかったのですが、この場で態度を決めるとの要請の中、反対の理由が見つからなかったため、消極的ではありますが賛成に回りました。

②幹事部会 池上幸平 次期幹事



◇幹事の責務

- ・会員記録を整理し保管。
- ・例会、理事会会合、委員会会合などの通知を送る。
- ・例会、理事会会合、委員会会合の議事録を作成し保管する。
- ・会員半期報告書（SAR）をはじめ、RIと地区への提出が義務づけられた報告書を作成し、7月1日と1月1日に分担金を支払う。
- ・例会の出席を記録し、月ごとの出席率を毎月最終例会の後15日以内にガバナーに報告する。

- ・クラブ役員と協力する。
- ・幹事によって行われている、その他の通常任務を遂行する。

◇席次

- ・ガバナー補佐・地区幹事/会計・地区委員会委員・クラブ会長・クラブ会長エレクト・クラブ副会長
- ・クラブ幹事・クラブ会計・クラブ会場監督・クラブ委員会委員長・元ガバナー補佐・ロータリアン
- ・ロータリー財団学友・ロータリアンの家族 *地元の慣習に従って上席を与えることができる。

◇My Rotaryを開設する

◇年間予定表の確認

③会員増強部会 井上修 次期会員増強・プログラム委員長



2600地区、会員数が2000人を割り危機的状況にある。日本全国で一日2,000人の会員が減り続けている。各クラブでは年間6名以内に退会を抑えて欲しい。又2020年東京オリンピックまでに価値観の変化、ステータスの変化を克服して会員増強を計って欲しい。伊那中央ロータリークラブとしての目標は男性1名、女性1名の増加。大きな課題・・・ロータリー退会、不参加の大きな障害でも有る、例会の実施回数、開催日時なども伊那中央ロータリークラブ内で検討し前向きに改善して行く。

④広報・情報部会 田中洋 次期広報委員長



委員会の役割について研修しました。

- ・ロータリー活動を多くの人々に知ってもらうこと。
- ・活動の広報計画を立案し実行すること。
- ・これらを行うことはロータリーのイメージと認知度を高めることにつながり、会員のモチベーションが高まるとともに、会員数の増加にもなる。

⑥社会奉仕部会 伊藤幸明 次期職業・社会奉仕副委員長



私が区長及び区長会長の時、小坂市長より補助金を出すのでボランティアで何か社会奉仕をして欲しいということで、桜100本、芝桜苗10万円相当を植栽しました。区長退任後3年ほどは1人で行っていましたが現在は荒地となっております。

ボランティアを続けるのは大変なことです。

壮年ソフトの全国大会や、伊那駅伝の係りなどの補助的奉仕をするべきだと私は思います。

■ 点 鐘

13:30

次回例会

4月14日(火) 12:00～「さくら例会」 於:分水RC友好桜前(伊那中央病院庭)

12:30～「通常例会」 於:例会場(海老屋)